



熊本県公報

号外 第 4 7 号

平成 26 年 10 月 14 日 (火)

(毎週 火・金発行)

目 次

条 例

○熊本県議会議員選挙における選挙公報の発行に関する条例・・・ (市町村行政課) 1

本号で公布された条例のあらまし

◇熊本県議会議員選挙における選挙公報の発行に関する条例

- 1 県議会議員の選挙における選挙公報の発行に関し、必要な事項を定めることとした。
 - (1) 県選挙管理委員会は、県議会議員の選挙においては、候補者の氏名等を掲載した選挙公報を、選挙ごとに1回、選挙区ごとに発行しなければならないこととした。(第2条関係)
 - (2) 掲載文の申請について、次のとおり定めることとした。(第3条関係)
 - ア 候補者が選挙公報に氏名等の掲載を受けようとするときは、その掲載文及び写真を添えて、県選挙管理委員会に文書で申請しなければならないこととした。
 - イ 候補者は、その責任を自覚し、アの掲載文には、いやしくも選挙公報としての品位を損なう事項を記載してはならないこととした。
 - (3) 選挙公報の発行手続を次のとおりとすることとした。(第4条関係)
 - ア 県選挙管理委員会は、(2)アの申請があったときは、掲載文を原文のまま選挙公報に掲載しなければならないこととした。
 - イ 一の用紙に2人以上の候補者の氏名等を掲載する場合には、その掲載の順序は、県選挙管理委員会がくじで定めることとした。
 - ウ (2)アの申請をした候補者又はその代理人は、イのくじに立ち会うことができることとした。
 - (4) 選挙公報の配布を次のとおりとすることとした。(第5条関係)
 - ア 選挙公報は、市町村の選挙管理委員会(熊本市にあっては、区の選挙管理委員会。以下同じ。)が、選挙人名簿に登録された者の属する各世帯に対して、当該選挙の期日の前日までに、配布するものとする。こととした。
 - イ 市町村の選挙管理委員会は、各世帯に選挙公報を配布することが困難であると認められる特別の事情があるときは、選挙公報につき、アの選挙公報を配布すべき日までに新聞折込みその他これに準じる方法による配布を行うことによつて、アの選挙公報の配布に代えることができる。この場合においては、当該市町村の選挙管理委員会は、市役所、区役所、町村役場その他適当な場所に選挙公報を備え置く等当該方法による選挙公報の配布を補完する措置を講ずることにより、選挙人が選挙公報を容易に入手することができるよう努めなければならないこととした。
 - (5) 公職選挙法第100条第4項の規定により投票を行わないこととなったとき又は天災その他避けることのできない事故その他特別の事情があるときは、選挙公報の発行の手続は、中止することとした。(第6条関係)
 - (6) この条例に定めるもののほか、選挙公報の発行の手続に関し必要な事項は、県選挙管理委員会が定めることとした。(第7条関係)
- 2 この条例は、公布の日から施行することとした。
- 3 この条例は、この条例の施行の日以後初めてその期日を告示される一般選挙から適用することとした。(附則第2項関係)

条 例

熊本県議会議員選挙における選挙公報の発行に関する条例をここに公布する。
平成 26 年 10 月 14 日

熊本県知事 蒲 島 郁 夫

熊本県条例第67号

熊本県議会議員選挙における選挙公報の発行に関する条例

(趣旨)

第1条 この条例は、公職選挙法（昭和25年法律第100号）第172条の2の規定に基づき、熊本県議会議員（以下「県議会議員」という。）の選挙（選挙の一部無効による再選挙を除く。以下同じ。）における選挙公報の発行に関し必要な事項を定めるものとする。

(選挙公報の発行)

第2条 熊本県選挙管理委員会（以下「県委員会」という。）は、県議会議員の選挙において、県議会議員の候補者（以下「候補者」という。）の氏名、経歴、政見、写真等を掲載した選挙公報を、選挙ごとに、1回発行しなければならない。

2 選挙公報は、選挙区ごとに、発行しなければならない。

(掲載文の申請)

第3条 候補者が選挙公報に氏名、経歴、政見、写真等の掲載を受けようとするときは、その掲載文及び写真を添えて、当該選挙の期日の告示があった日に、県委員会に文書で申請しなければならない。

2 候補者は、その責任を自覚し、前項の掲載文には、他人若しくは他の政党その他の政治団体の名誉を傷つけ、若しくは善良な風俗を害し、又は特定の商品の広告その他営業に関する宣伝をする等いやくも選挙公報としての品位を損なう事項を記載してはならない。

(選挙公報の発行手続)

第4条 県委員会は、前条第1項の規定による申請があったときは、同項の掲載文を原文のまま選挙公報に掲載しなければならない。

2 一の用紙に2人以上の候補者の氏名、経歴、政見、写真等を掲載する場合には、その掲載の順序は、県委員会がくじで定める。

3 前条第1項の規定による申請をした候補者又はその代理人は、前項のくじに立ち会うことができる。

(選挙公報の配布)

第5条 選挙公報は、県委員会の定めるところにより、市町村の選挙管理委員会（熊本市にあっては、区の選挙管理委員会。以下同じ。）が、当該選挙に用いるべき選挙人名簿に登録された者の属する各世帯に対して、当該選挙の期日の前日までに、配布するものとする。

2 市町村の選挙管理委員会は、前項の各世帯に選挙公報を配布することが困難であるとき認められる特別の事情があるときは、あらかじめ、県委員会に届け出て、選挙公報につき、同項の規定により配布すべき日までに新聞折込みその他これに準ずる方法による配布を行うことにより、同項の規定による配布に代えることができる。この場合においては、当該市町村の選挙管理委員会は、市役所、区役所、町村役場その他適当な場所により、選挙公報を備え置く等当該方法による選挙公報の配布を補完する措置を講ずることにより、選挙人が選挙公報を容易に入手することができるよう努めなければならない。

(選挙公報の発行を中止する場合)

第6条 公職選挙法第100条第4項の規定により投票を行わないこととなったとき又は天災その他避けることのできない事故その他特別の事情があるときは、選挙公報の発行の手続は、中止する。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、選挙公報の発行の手続に関し必要な事項は、県委員会が定める。

附 則

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 この条例は、この条例の施行の日以後初めてその期日を告示される一般選挙から適用する。